

2014年度第4回 関西学院大学人権教育研究室公開研究・講演会
「『世界難民の日』を覚えて
—『見えなくされている』人々へのまなざし—」

日時：2014年6月16日（月）15：10-16：40

場所：西宮上ヶ原キャンパス 第5別館 4号教室

講演：「日本に逃れてきた難民を知る—体験型セミナー—」

田中志穂 氏（難民支援協会広報部 チームリーダー）

講演会趣旨

2000年12月4日に開催された国連総会において、それまで「アフリカ難民の日」と定められていた6月20日を「世界難民の日（World Refugee Day）」とすることが決議されました。日本においては未だその受け入れの進まない「難民」ではありますが、関西学院大学では日本国内の他大学に先駆けて、2007年度より「UNHCR（国連高等難民弁務官）」より推薦された難民学生を無償で受け入れ、奨学金を準備してその生活を支援する制度を導入しています。

昨年度に引き続きこの制度で入学した学生が中心となって、「難民『問題』」のさらなる啓発を行うために、難民支援協会の方々、また関西学院大学生協の全面的な協力のもと、「難民」の方々の出身国のレシピ集（難民支援協会発行『海を渡った故郷の味』2013年2月）をもとにパパ食堂において5月19日-23日、6月16日-20日の計10日間、料理を提供するイベント“Meal for Refugee”を実施しております。

今回は、昨年度もご講演・ご協力をいただき、『海を渡った故郷の味』出版の責任も担ってこられた田中志穂氏をお招きして、さらなる啓発と理解を深めることを目的といたしました。普段身近に感じることの少ない、「難民」の方々の存在を少しでも身近に感じて頂ければ幸いです。

*講師ご略歴

2009年より難民支援協会広報部チームリーダー。

アメリカ・オハイオ州への高校留学をきっかけに外国人支援に関心を持つ。

5年間の飲料メーカーでの勤務を経たのちに、ワシントンD.Cの大学院に通い、帰国後、国際移民の研究に従事する。エリアの関心はフィリピン。難民支援協会では、広報・資金調達を担当する傍ら、東日本大震災後は、被災した外国籍住民への就労支援事業を担当。最近では、レシピ本『海を渡った故郷の味』の制作コーディネーションを行う。国際基督教大学卒業。

■お問い合わせ 関西学院大学人権教育研究室

Tel. 0798-54-6720 E-mail. masahi@kwansei.ac.jp